



2021年3月29日

各 位

会社名 CYBERDYNE株式会社
代表者名 代表取締役社長 山海 嘉之
(コード番号 7779 東証マザーズ)
問合せ先 取締役コーポレート 宇賀 伸二
部門責任者
(電話 029-869-9981)

台湾でサイバニクス治療センターがグランドオープン

CYBERDYNE 株式会社(茨城県つくば市、代表取締役社長:山海嘉之、以下「当社」)は、台湾の大手医療機器専門商社グループである CHC Healthcare Group(承業生醫企業集團、以下「CHC グループ」)傘下のグループ病院(Yee Zen General Hospital:怡仁綜合醫院)において、サイバニクス治療センター (Yee Zen Cybernics Treatment Center) がグランドオープンしましたので、お知らせします。なお、HAL®医療用下肢タイプは、昨年10月に台湾衛生福利部食品薬物管理署(TFDA)の医療機器の承認を取得しております。



「Yee Zen Cybernics Treatment Center 開所式」の様子

写真左：(左から2番目) 桃園市長の鄭文燦 (チェン・ウェンツァン) 氏

写真左：(左から3番目) Yee Zen General Hospital 院長の李典穎 (Peter Tien-Ying Lee) 氏

写真右：HAL®のデモレーションの様子 - Peter 院長 (中央の白衣姿) より桃園市政府幹部への説明

サイバニクス治療センターの開所式では、桃園市長の鄭文燦 (チェン・ウェンツァン) 氏や市政府の衛生局長、市議会議員等、CHC グループからは Yee Zen General Hospital 院長の李典穎 (Peter Tien-Ying Lee) 氏のご参加されました。

鄭文燦 (チェン・ウェンツァン) 桃園市長のコメント：

「CYBERDYNE 社の治療ロボットは、AI とロボット技術により、麻痺や運動機能障害の方に対する治療効果を向上させ、患者が心身の健康を取り戻すことを可能にし、リハビリテーションを必要とする人にとって大きな恵みとなると思います。」

桃園市政府 web サイト：

https://www.tycg.gov.tw/ch/home.jsp?id=10412&parentpath=0,10401&mcustomize=news_view.jsp&dataserno=202103240009&aplistdn=ou=news,ou=chinese,ou=ap_root,o=tycgc,c=tw&toolsflag=Y

参考リリース)

2020年10月20日「HAL®医療用下肢タイプ、台湾当局より医療機器の承認取得～東南アジア・豪州に続き、アジア太平洋州(APAC)で事業が加速～」

https://www.cyberdyne.jp/wp_uploads/2020/10/20201020_PR_jpn.pdf

<CYBERDYNE 株式会社について>

当社グループでは、人とテクノロジーが共生し相互に支え合うテクノ・ピアサポートを軸とした未来社会「Society5.0/5.1」の実現、社会変革・産業変革の実現を目指し、『人』+『サイバー・フィジカル空間』を扱う「サイバニクス技術」(人・ロボット・情報系の融合複合技術)を駆使して、「ロボット産業」「IT産業」に続く「サイバニクス産業」の創出を推進しています。当社の先端技術の独自性と優位性は、医療、福祉、生活・職場、生産の分野において、IoH/IoT化(ヒトとモノのインターネット)、ロボット化、AI化されたHAL®に代表されるサイバニクスシステムをプラットフォーム化し、脳神経系・生理系から行動・生活系に至る様々なビッグデータをクラウドやスパコンとつなぎ、『人』+『サイバー・フィジカル空間』を融合していく点にあります。当社のデバイスやインターフェースで得られた全てのIoH/IoTビッグデータ(脳神経系、生理系、身体系、行動系、生活系、環境系)の集積・解析・AI処理等を実現してまいります。また、『サイバニクス産業』の創出を加速させるため、様々な事業連携も同時並行で進めています。

以上